

第49号

平成27年
5月1日

題字

植木 満
初代東進会会長

東進

発行所

土浦一高東進会

〔茨城県立土浦一高
進修同窓会東京支部〕

発行人

東進会会長 飯塚 哲哉

事務局 東京都中央区日本橋茅場町2-4-6 松田ビル5階
君山法律事務所 君山利男(高25回卒)
TEL 03-5640-0289 FAX 03-5640-0269
E-mail: k-toshinkai@arion.ocn.ne.jp



提供 土浦市市長公室広報広聴課

■安倍総理中東歴訪に同行して
東進会会長 飯塚 哲哉

■平成26年度大学合格者
進修同窓会だより
東進会名誉会長 大野 金一

■半了のささやき「インフレーション」
高山寺 半了(昭和41年卒)

■ドローン 「アカンサスクラブ No.2」
酒井 学雄(昭和56年卒)

■茨城の現状と可能性
「アカンサスクラブ No.3」
青山 大人(平成9年卒)

■平成27年度総会・懇親会ご案内
とき 6月14日(日)12時00分から
ところ 学士会館 210号室

安倍総理中東歴訪に同行して

東進会会長 飯塚 哲哉 (昭和41年卒)

今年1月17日から1週間程、安倍総理の中東歴訪に同行し、イスラエルでの経済セミナーに参加した。ベンチャー立国と言われるイスラエルのベンチャー企業数社を視察した。折しも、エルサレムでの日本とイスラエル政府の経済フォーラム直後に所謂「イスラム国」ISによる後藤健二氏の人質事件が発生し、種々な意味で衝撃的な出張で、その感想などを皆さんと共有したいと思ひ筆を取った。

今回の安倍首相の中東歴訪には30社程の大手・中堅企業が同行し、エジプトのカイロ、ヨルダンのアンマン、イスラエルのエルサレム、パレスチナを訪問するという日本の国際政治としても異例で、またビジネスとしても興味深い行程だった。

日本・イスラエル・ビジネスフォーラム

イスラエルの首都エルサレムにて1月18日に開催されたジェトロ主催の日本・イスラエル・ビジネスフォーラムについて述べよう。日本とイスラエル両国から約300名の参加者を集め、冒頭にネタニヤフ・イスラエル首相と日本の安倍首相から挨拶

挨拶があり、ICT分野での研究協力協定の署名式が行われた。この後、日本から弊社を含め10社の代表からイスラエルから4件のプレゼンテーションが行われ、両国の協力促進の雰囲気盛り上がった。

日本からの約30社の代表として
三井物産副社長安部新太郎氏、
パナソニック会長長栄周作氏、
日揮グループ代表重久吉弘氏、
日本経済同友会代表(三菱ケミカル)小林喜光氏、
日本電気会長矢野薫氏、
NICT理事長坂内正夫氏、
伊藤忠テクノベンチャーズ社長安達俊久氏、
サムライインキュベーターCEO
榊原健太郎氏

など錚々たる経営者が参加した。
政府関係からは
内閣官房副長官世耕弘成氏、
外務副大臣中山泰秀氏、
内閣参与飯島勲氏、
JETRO理事長石毛博行氏
などが参加した。中山副外務大臣はこの直後に発生した日本人質事件の対応の為、この日より数週間ヨルダンに残ることになる。

「イスラエルは0から1を生むこ

とが得意で、日本は1を100にすることに長けている。互いに手を組もう」という両首相のメッセージが印象的だった。



写真1:エルサレムの街並みをダビデの塔から臨む。神殿の丘と岩のドーム。右奥はオリーブ山。嘆きの壁は神殿の丘の手前下部にある。



写真2:日本・イスラエル・ビジネスフォーラムに先立って行われた両国首相会談



写真3:ビジネスフォーラムでのICT分野研究協力協定署名式(手前左:科学技術振興機構JST理事長中村道治氏、手前右:イスラエル首相府次官ハレル・ロッケル氏)



写真4:安倍首相、ネタニヤフ首相との記念撮影(やや緊張)。<政府撮影>

ベンチャー立国イスラエル

今回の安倍総理中東歴訪同行のお誘いをお受けすることにした大きな理由の一つはイスラエルのベンチャーとの提携交渉だ。

イスラエルはベンチャーを大切に
する国家だ。その人口は僅か800
万人、国土面積は約2万平方キロ(日
本の四国程度)でしかない。この規
模の小さな国で、何と年間3,00
0社のベンチャーが起業されている。
その多くは失敗する訳だが、成功例
も多い。イスラエルのベンチャーの
特徴は、例えばモバイルアイ社のよ
うに自身が巨大企業に成長するもの
もあるが多くは海外と提携し、既存
企業に買収(M&A)されることを
主なゴールの一つと考えている。私
が訪問していた1週間だけでも何と
8社がM&Aされ、その価格は30
百万から180百万米ドルだったと
いう。イノベーションを生み出す人
材を多数輩出する風土、文化がある。
また世界人口に占めるユダヤ人の割
合は0.25%程に過ぎないが、ノ
ーベル賞受賞者に占めるユダヤ人の
割合は20%と、人口比の100倍で
あることも通ずる理由がそこには
あるはずだ。

何故だろうか。

図は世界のイスラム教圏を示す。

薄い緑はスンニー派、濃い緑はシー
ア派である。アフリカ北部の過半か
ら始まり東はインドネシアまで、広
大な領域がイスラム圏だ。イスラエ
ルは異教徒の支配する広大な領域に
ほぼ地続きで囲まれた僅か2万平方
キロの国土だ。また何よりその歴史
は虐待の数々に満ちている。存続の
危機感を全国民が共有し、米国のみ

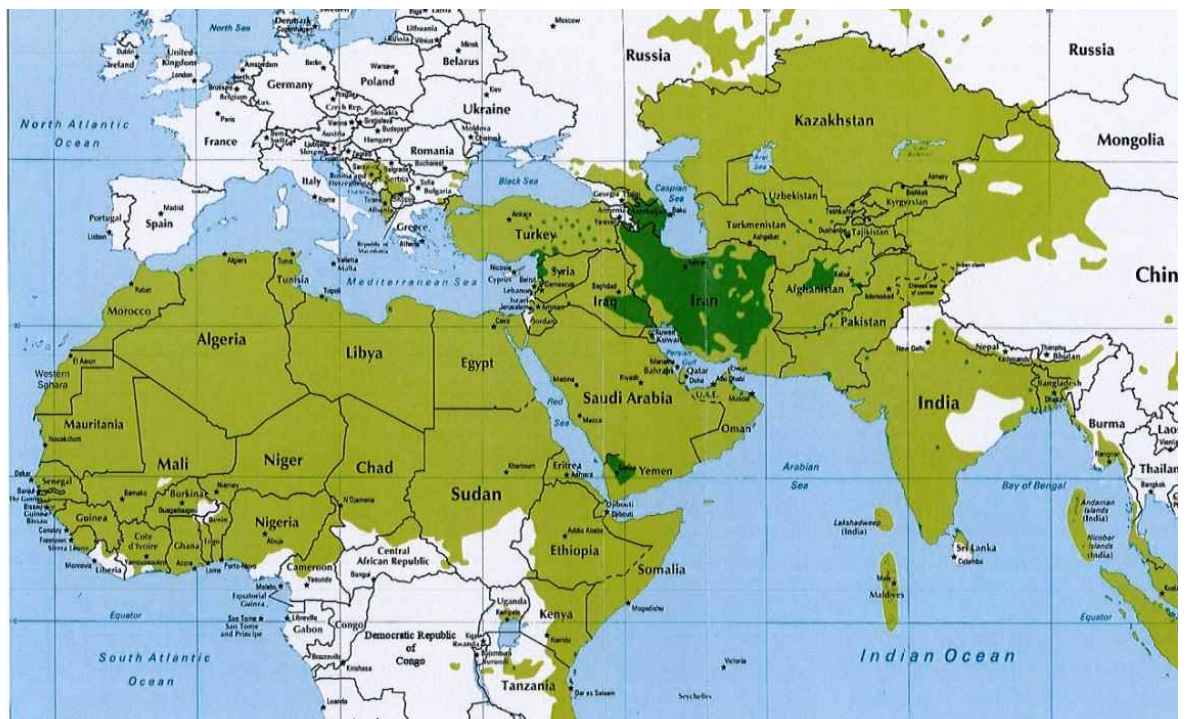
ならず全世界の政治、金融、メデイ
アを牛耳る同族の人達と深い絆で結
ばれている。

国家としての研究開発費も多く、
そのGDP比は約4.5%と日本(3.
3%)や米国(2.8%)などより
も高い。世界の先進的な技術の多く
はこの国から生みだされてきたと言
っても過言ではなく、種々の軍事技
術、サイバーセキュリティ、バイオ
などの分野の先進性は顕著と言える。
半導体分野でも、例えばインテル社
の最も優れた開発拠点はイスラエル
と言われている。いまも成長を継続
する半導体生産委託(ファウンドリ)
事業でもタワージャズというイスラ
エル発の企業が快調で、日本のパナ
ソニックの半導体工場を買収したの
も最近の話題だ。

なぜテロが多発するのか

今回のエルサレムでのビジネスフ
ォーラムの最中に所謂「イスラム国」
ISによる日本人後藤健二氏人質事
件が勃発した。既述したように、同
行していた中山副大臣は事件の処理
の為にヨルダンに数週間居残り、解
決に尽力されるも極めて残念な結果
になってしまった。

2001年9月11日貿易センター
ビルに旅客機が突入した事件の記憶
はいまだ生々しいが、14年経た今も
イラク、チュニジア、イエメン、さ
らにロンドンやパリにも見られるよ
うに世界中でテロが絶えず、むしろ



図：イスラエルを囲む広大なイスラム教圏(濃緑：シーア派、薄緑：スンニー派)。
イスラエルは約2万平方キロ(日本の四国くらいの面積)。<ウィキペディアから>

増加している。

何故こうした自爆テロや残酷な殺
戮が増え続けたのか。安倍首相のカ
イロでの演説に原因がある訳でもな
く、イスラム教という宗教自体が原
因という単純なものでも決していない。
かつて先進国が勝手に作り上げた国
境や秩序が理由であるというの否
定はできないがこの過激さを理解す
るのに充分ではない。また貧困や飢
餓などが原因として挙げられること
も多いが必ずしも論理的ではない。

たりといった行動を起こす。

かつてはペストによる大量死によ
る人口激減に見舞われた後のヨーロ
ッパがユースバルジ状態にあり、海
外に活路を求め、他国を侵略し、多
くの植民地を手に入れた。時代が変
わって、1900年からの100年
程の間、今度はイスラム教圏の国々
の多くでそうした状態が生じた。同
じ期間に中国やインドで人口が増え
たとっても、それぞれ3倍や4倍
に増加したにすぎないのに対し、イ

そうした中で、ハインゾー
ン(「自爆する若者たち―人口
学が警告する驚愕の未来」新
潮選書)の唱える、長期に渡
る人口爆発が主因であるとい
う説が私には最も納得が行く。
つまり人口プロファイルがユ
ースバルジ(若者の人口が突
出して多い)状態にあること
が主因だと言う説だ。

ユースバルジ状態(ユース
||若者、バルジ||膨らみ)と
は、全人口の3人に1人以上
が15才以下で、5人に1人以
上が16才から25才という超
若者社会である。1人の女性
が平均して6-7人の子を持
つ状態だという。優秀な若者
でも自尊心を満たすような職
や地位につけず、不満を持っ
た彼らは国内でクーデター、
内戦、革命を起こしたり、国
外へ移住し、集団殺戮に走っ

スラム圏では実に8倍にも増大したという。

民族や宗教の特性とか、貧困、飢餓といった問題に因るのではなく、長期に渡る異常な人口爆発こそが、テロと言う攻撃的で深刻な問題を引き起こすと言う論理は説得力がある。人口の異常な爆発が攻撃的、好戦的な心情を生むのとは対照的に多くの先進国では人口減少問題が活力低下の一因ともなっている。そう考えると如何にして地球規模で人口プロファイルを制御してゆくかという課題は極めて重要なのだろう。

しかし、人口問題がすべてを支配する訳ではない。かつて日本がユーロスバルジ状態にあったことはない。それでも、国家として好戦的な時代があった。誤った国家戦略により、近隣諸国と自国の貴重で莫大な生命と財産を失った。奇しくも終戦後70年目を迎える今年、首相の中東歴訪に同行する機会を得たが、そこは現在も悲惨な戦闘が日々繰り返されていくという現実に触れる機会となった。自分を含む戦後生まれが大多数となり、長期にわたり他国に守って貰う不思議な「平和国家」の中で、多くの国民が戦争を遠い存在として捉える状況はむしろ危険を感じる。ドイツと並び特異な歴史と卓越した能力をもつ日本が国際平和にどう貢献すべきかを考えさせられる出張であった。

東大は現役で公立高2位 平成26年度大学合格者

例年週刊誌で話題になる東大合格者は、昨年より3名多い24名だった。公立高校では、日比谷(37)、浦和(27)、富山中(27)に次いで4位だったが、現役15名は、日比谷19名に次いで2位だった。筑波大も57名で勿論全国1位

である。一橋大も昨年ゼロだったが、今年3名と復活した。

国公立医科系も22名に復活した。私大合格者は、ほぼ昨年並みである。土浦一高は、昨年度茨城県でただ1校、各分野でグローバルリーダーを育成する「スーパーグローバルハイスクール」(SGH)に指定された。ITバブルで理系学生を増やすだけでは次元が違う教育目的の下で頑張つてほしいものである。

進修同窓会だより

▼目下の重要課題である旧本館の補修については、4億円程の予算をかけて27年度から施工されることになったが、本県と県が折半して負担すべきところ、文化財維持のために最も大事な屋根葺替えについては、県の財源不足から(現在のスレート瓦でもあと10年持つという理由)天然スレート瓦への葺替えは認められなかったため、県負担分6000

入試年度	平成27年		平成26年		平成25年		平成24年		平成23年	
	合計	新卒	合計	新卒	合計	新卒	合計	新卒	合計	新卒
北海道大	4	2	5	1	4	2	9	5	7	2
東北大	24	11	20	11	19	9	20	15	19	10
茨城大	15	11	9	8	13	5	7	6	12	10
筑波大	57	40	53	33	42	25	33	23	44	30
千葉大	10	7	12	5	10	4	12	8	10	5
お茶女大	7	6	3	3	7	4	2	2	5	3
東京大	23	15	21	8	24	13	22	13	29	17
東京外大	2	2	6	2	4	2	3	2	4	1
東工大	2	2	5		4	3	8	6	9	3
一橋大	3	1	0	0	1	0	7	2	10	3
横浜国大	6	5	2	1	4	2	5	2	1	0
京都大	6	5	6	1	2	1	6		3	2
大阪大	3	3	2	1	2	1	6	3	3	2
名古屋大	5	3	2	1	4	2	3	2	4	1
九州大			1	1	0	0	3	1	1	1
その他	37	16	33	13	41	13	20	17	35	16
国立大計	204	128	180	89	181	86	167	107	196	106
公立大計	13	11	8	3	6	1	10	8	7	5
国公立計	217	139	188	92	187	87	177	115	203	111
国公医科	22	7	17	4	17	5	14	7	20	11
防衛医科	1	1			0	0	2		1	
その他	7	4	3	2	0	0	3	2	3	3
大学校計	8	5	3	2	0	0	5	2	4	3
入試年度	平成22年		平成26年		平成25年		平成24年		平成23年	
	合計	新卒	合計	新卒	合計	新卒	合計	新卒	合計	新卒
青山学大	16	12	21	9	15	10	20	10	20	9
学習院大	15	9	6	4	14	10	18	8	13	6
慶応大	42	19	40	10	44	21	52	21	56	29
国際基督	1		3	3	5	3	7	3	5	2
上智大	18	10	24	8	17	6	23	8	22	11
中央大	25	13	45	23	22	4	27	10	42	17
津田塾大	7	5	1	1	1	0	2	2	5	2
東京女大	8	7	5	5	7	6	8	4	4	2
東京理大	91	40	113	24	55	24	74	30	87	36
日本女大	20	13	22	18	19	14	20	11	9	9
法政大	38	24	29	16	33	16	28	12	40	24
明治大	66	24	73	22	70	28	70	30	92	48
立教大	29	17	27	15	28	13	64	41	41	14
早稲田大	68	29	84	19	73	27	71	20	103	44
その他	205	104	214	120	128	59	162	64	186	72
私立大計	649	326	707	297	531	241	644	274	725	325
総計	896	477	896	395	719	329	837	391	932	439

万円を同窓会が負担(県に寄付)するということで予算化された。去る4月11日の進修同窓会総会で承認されたので、会員に改めて趣意書を付けて寄付のお願いが行きます。

▼進修同窓会新年度役員として副会長に飯塚哲哉氏(東進会会長・新任)のほか大野金一(同名誉会長)及び長戸琴氏(同副会長)が再任され、本部幹事として高山了氏(同副幹事長)が新たに選任された。

▼来年の60・50・40・25・15周年祝賀会は4月9日(第2土曜日)に決まった。

東進会名誉会長 大野金一

半了のささやき(第19回)

インフレーション

高山寺 半了

今年には桜も例年より早く開花。花見を楽しみましたか?お花見は中世に始まり、江戸時代に大衆に広がり、世界中を探しても類例がない日本独特の民衆文化。群桜、飲食、群衆、この3拍子揃って初めて成り立つが、何より平和で豊かな社会があつてこそだと思えます。

さて、今回のお題は「インフレーション」。あくインフレの事でしょう。安倍ちゃんとか黒田ちゃんが「目標2%!」とか言ってるやつ。物価上昇よね。あれ困るのよ...年金生活者には断固デフレ維持!ごもつとも。しかし、今回は浮世のチマチ

マした話題ではなく宇宙の話。「宇宙と人類の創成」に係る「インフレーション理論」の話をしようと思えます。

何事にも始まりがあります!。我々にも始まりがあります。オギャ〜と泣いた誕生の瞬間。いやいやその前がありますよ。精子君が卵子さんと出会った瞬間です。それから卵細胞は、2つになり、4つになり倍々に細胞分裂して、10月10日後に誕生。単に細胞分裂するだけではなく、分化、着床、妊娠、胚から組織、そして胎児へと3カ月かけて分裂していく。最終的には、約200種類以上の役割を持つた、60兆個もの細胞から構成されます。60兆個とは、地球上の人口が60億人として、実にその1万倍。正に人間そのものが細胞のインフレーション(指数関数的増加)によって生まれてきます。

次に、人類の歴史を見てみましょう。46億年前地球が創生。それから実に45億年以上が経ち、極く最近の7000万年前、最初の霊長類が出現。猿人から原人、旧人類と進化し、現代人と同じ新人類(クロマニヨン人)は20万年前に登場。一方、人類の人口はどうだったのか?新人類登場後10万以上経った7万年前の人口は僅か1万5千人以下(推定)、やっと生き延びていた。1万年前にメソポタミアで灌漑農業が発明された時点でも、100万人以下。それから産業革命の1750年までは年8万人の緩やかな増加。しかし以降2013年までの260年間は年25百万人(8億人↓72

億人)と急増、特に第二次世界大戦後の1950年からは年74百万人増と人口のインフレーション的超急増です。

最後は「宇宙創成」の話です。宇宙は137億年前、超高温・超高密度の「火の玉」として生まれ、それが現在の大きさまで膨張した。ご存知「ビッグバン理論」です。では、ビッグバンの前はどうか?真空で何も無い所から、どうして突然「火の玉」が生まれたのか?これを明快に解いたのが、佐藤勝彦東大名誉教授の宇宙の起源に迫る「インフレーション理論」です。

以下は佐藤さんが、素人にも分かり易く書かれた「宇宙は無数にあるのか」(集英社新書)からの話です。宇宙最大の謎は、正体不明のダークマター(暗黒物質)が27%、ダークエネルギー(暗黒エネルギー)が68%、合計96%を占めていること。光や電波などを一切出さない為、通常的手段では観測できず、存在確認ができない。人類が認識できる物質エネルギーは僅か4%、宇宙の正体は、まだ4%しか理解されていないのです。

ところが、宇宙誕生の直後(ビッグバンの前)の極く短い時間(10のマイナス35乗からマイナス34乗秒の間)に、このダークエネルギーが原動力になり、体積が10の43乗倍も膨れ上がる、凄まじい「倍々ゲーム」でインフレーションを起こした。真空の相転移による指数関数的膨張が終わると、膨大なエネルギーが放出される。それが熱エネルギーとなって「火の玉」を

生み出し、ビッグバンを起こすのだそうです。更に「インフレーション理論」は宇宙の誕生を説明すると同時に、宇宙は「ユニバース(単一の宇宙)」と呼ばれますが、実は「マルチバース(多重宇宙)」の可能性を示唆しています。

え〜何のことかさっぱり分からない。そうでしょうね。一度騙されたと思つて「宇宙は無数にあるのか」を読むとすつきりしますよ。少なくとも眠れない夜にはすぐ熟睡できます(笑)。

生物の発生と進化の本質を纏めた中沢弘基著「生命誕生 地球史から読み解く新しい生命像」(講談社現代新書)もお勧めします。

さて、今回のささやきは「今に生きる!この一瞬を精一杯生きる!」。

我々が今こうして地球に生きているのは、宇宙の数々の「奇跡」を生み出した多くの存在によつて生かされています。仮に宇宙の物理定数のどれか一つが、少しでも違えば地球は生まれず、例えできても生命体は生まれなかった(詳しくは2冊の本を読むとワクワクします)。又、1回1億と言う精子群の内、別な精子君が卵子さんと出会っていれば、今の貴方は存在しませんね。そして時間は絶え間なく過去から未来に進みます。半了を読み始めた貴方は、既に過去の貴方。両親や毎日6千億個も生まれ変わる細胞や、海や地球や太陽などに感謝しつつ、この「時空」での一瞬を精一杯生きる事が、大事なのではないのでしょうか?

Acanthus club No.2

2014.10.29

土浦一高東進会アカンサスクラブ

実行委員長 花上克宏 k.hanagami.ic@hitachi-kenki.com

事務局 長 伊東明彦 itou.akihiko@sed.co.jp

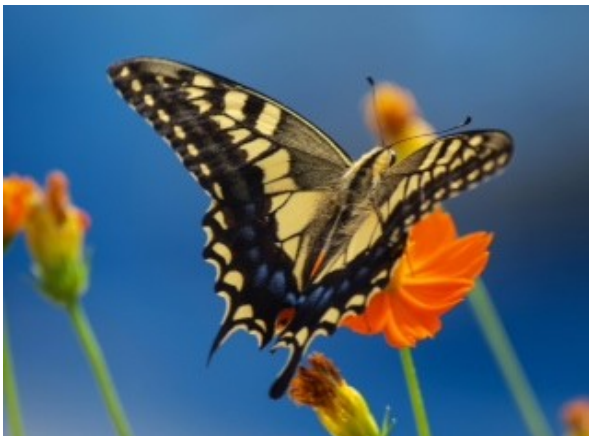
蝶のように舞い、鳥の目で世界を見てみたい・・・ そんな子供の頃の夢が今、叶う！

純日本製マルチローターヘリコプター『ミニサーベイヤ』いよいよ発進！！

株式会社スカイコープソリューションズ
代表取締役社長 酒井学雄(昭和56年卒)



蝶のように舞い



鳥瞰で世界を見てみたい



ドローン(UAV)でそんな夢が叶う！



ドローンとの出会い

2012年10月に、千葉大学野波教授と、千葉大発ドローン(UAV)ミニサーベイヤの開発・普及を目指して、ミニサーベイヤコンソシアムを設立した。130社参加



空の産業革命

コンソーシアムでは、安全運用管理のルール・技能検定制度の構築に取り組んでいる。茨城県全域をドローン特区に申請し、規制緩和による飛行試験と技能検定場の設置を提案し、茨城をドローン産業集積拠点化の提案をしている。外国製ドローン数千機が日本上空を飛び交う中、唯一の純日本製ドローンであるミニサーベイヤを、産業用に適合させて、業務ソリューションの開発を目指す。

産業用 どんな業務に活用できるのか？

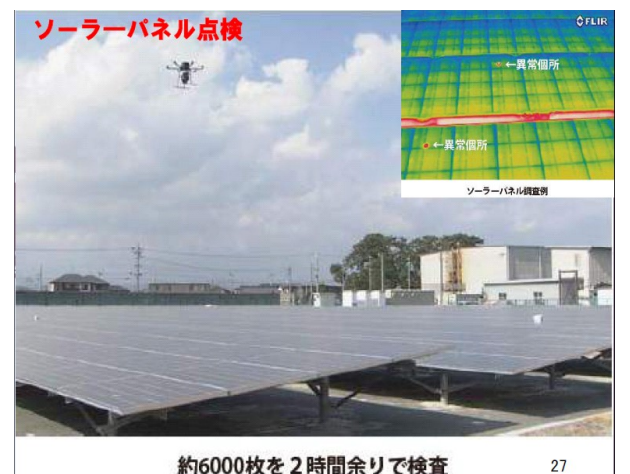
社会インフラ点検(橋梁点検・ソーラーパネル点検 等々)



橋梁点検



如何ですか?



約6000枚を2時間余りで検査

IT・ドローン農業

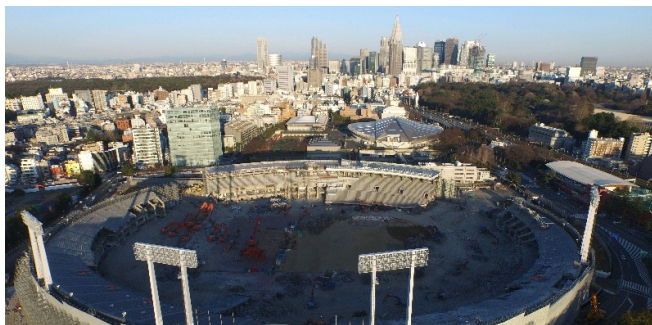


イッテキマース!



12月8日 #10「IT農業」
東京大学大学院 生物測定学研究室・岩田洋佳さんが考える未来の農業は、田畑の上に広がる「空」を利用したIT農業。利用するのは、タブレット端末で遠隔操作できるカメラ付きの無人小型ヘリコプター。みかん畑の上空をひとつ飛びさるだけで、木になつて果実の数や大きさを測定。葉の色からは、病気や害虫の有無を判別。また、果実が太陽光を反射・吸収する光の成分を分析して糖度を調べることもできる。これらのデータはタブレットに送られるので、農作業の手間が大幅に省ける。さらに、測定したデータから作物の病害予報もしてくれるので、被害の拡大を防ぎ、農業初心者でも低コストで高品質の作物を作ることができる。

国立競技場解体・建設空撮



土浦花火空撮中継



ドローン活用分野と空の産業革命



Acanthus club No.3

2015.3.11

土浦一高東進会アカンサスクラブ

実行委員長 花上克宏 k.hanagami.ic@hitachi-kenki.com

事務局 伊東明彦 itou.akihiko@sed.co.jp

茨城の現状と可能性

青山 大人(平成9年卒)

茨城県は、筑波山や霞ヶ浦など魅力ある自然の景観に加え、文化遺産、農産物、伝統行事など豊かな資源に恵まれております。さらに都心から通勤圏内にあり、つくばにおける最先端技術、高速道路、鉄道、空港などの広域的な交通網も充実しております。

しかしながら、民間調査会社による「地域ブランド調



査」中の魅力度ランキングでは、茨城県は2年連続で全国最下位となり、マスコミ等を賑わせております。ただし、この調査は公的な機関の調査でもありませんし、北海道、京都、沖縄といった、いわゆるメジャーな観光地を抱えている都道府県が上位にランクされる傾向が強いことがはっきりしていることから、余り気にする必要はないと思います。むしろ最下位になった結果、マスコミ等で茨城県のことを取り上げてくれる頻度が増えたので、その広告効果の方が大きいと思います。もちろん、年々魅力度ランキングがマスコミに取り上げられる回数が増えてきていることも事実であり、このまま最下位に甘んじていていいということでもありませんが。

さて、この調査は魅力度など主要5項目以外にもいろいろ細かい項目でランキング化されております。そういった細かい項目を見ていくと、例えば「学術や芸術、IT先端技術といった項目では茨城が毎年1ケタの順位と高い位置を占めております。さらには、「教育子育て」、「生活に便利快適」、「農林水産業が盛ん」、「環境にやさしい」といった部門では、いずれも全国で10番台と高い水準を占めております。これら上位の項目を見ればわかるように、茨城県は生活する上で恵まれ

た環境にあると言えます。低順位のところばかり注目し、自虐的になるのでなく、こういった茨城県の強みをさらに深化させていくことが大切だと思います。

そして、茨城に住んでいても茨城出身でも、茨城のことを知っているように知らないことが多いのも事実です。茨城県のホームページにも掲載されております「茨城マメ知識」を見るとわかりますが、まずは自分自身で茨城のことをよく知るのが大切だと思います。スマートフォンでも検索できますし、英語、中国語、韓国語でも掲載されているので、海外の方に茨城県を説明する際にとっても便利です。

東日本大震災以降の4年間で、茨城県の人口が4万人以上減少しているなかにあつても、県南地域はTX沿線を中心に人口が増えています。TXが開業して10年、昨年6月にはジェトロ茨城が開業、常磐線上野東京ラインが開通し、東海道線への直接乗り入れが実現しました。茨城空港も開港丸5年、茨城港は今年度中に中央埠頭が完成し、大手自動車メーカーの誘致も決まりました。来年2016年サミットの誘致、2019年いばらき国体、2020年東京オリンピックピック・パラリンピックなどもあります。可能性のある茨城県をみんなで盛り上げていければと思います。

あおやま やまと

平成27年度 総会・懇親会のお知らせ

【とき】 平成27年6月14日(日曜日)

11:00 受付開始
12:00 母校吹奏楽部による演奏
12:20 応援指導部による演舞
12:30 総会
13:10 講演
13:40 懇親会
15:30 閉会(予定)

【ところ】 学士会館 210号室
千代田区神田錦町3-28
03(3292)5936

【会費】 東進会年会費 3,000円 【同封の振込用紙をご利用ください】
懇親会費 7,000円

【講演】 放射線の人体影響
小野 哲也氏(東北大学名誉教授 昭和41年卒)

【当番幹事】 花上 克宏(昭和50年卒) 小野村敏之(昭和50年卒)
星川美代子(昭和50年卒) 伊東 明彦(平成5年卒)
緒方 浩一(平成7年卒)

謳絆会200回記念へのお誘い

☺ 大勢の皆さまのご参加をお待ちしております ☺

とき 7月9日(木)午後6時30分から

ところ 主婦会館プラザエフ 8階「スイセン」(JR四ツ谷駅 徒歩1分)
千代田区六番町15 電話03(3265)8111

会費 卒業年次が 昭和の方は1万円
平成の方は5千円

お申し込みは、6月30日(火)までに下記へお願いいたします。

櫻井成一郎(昭和55年卒) 電話:03(5421)5321

E-Mail:seiichiro.sakurai@nifty.com